

学術情報センター ニュース

第44号目次

《トピックス》

- [・学術の総合情報センター（仮称）の建築状況](#)
- [・英国NACSIS-CAT参加機関の図書所蔵登録件数10万件突破](#)
- [・Webcat（総合目録データベースWWW検索サービス）本運用開始](#)
- [・日仏会館遷及入力の完了](#)
- [・新情報検索サービス移行の進捗状況](#)
- [・アジア情報調査（平成9年度活動報告）](#)
- [・The Third Party Review Committee Report（外部評価委員会報告書）刊行](#)
- [・WAINS4：第4回学術情報ネットワークとシステムに関する国際ワークショップの開催](#)
- [・学術情報センター教員等の任期に関する規則](#)

《参加館紹介》

- [・国立民族学博物館における学術情報センターシステムの利用](#)
- [・国立科学博物館の学術情報センターシステムの利用](#)

《NACSISサービス案内》

- [・平成10年度のサービス休止予定](#)
- [・失効した利用者番号での継続受付期限（6月26日）](#)
- [・平成10年度利用説明会開催予定](#)
- [・学術雑誌総合目録欧文編1998年版の編集状況](#)
- [・JOIS利用料金の改定（平成10年4月1日）](#)
- [・研究者公募情報提供サービスの実施状況](#)

- [・「ネットワーク運用係」連絡先の変更](#)
- [・接続ニュース（平成10年4月）](#)
- [・「学術雑誌目次速報データベース」の進捗状況（平成10年4月）](#)
- [・NACSIS-ILL利用状況（平成9年度）](#)
- [・電子メールシステム利用状況（平成9年度）](#)
- [・メインシステム稼働状況（平成9年度）](#)
- [・NACSIS-IRデータベース収納状況](#)
- [・NACSIS-CATデータベース構築状況](#)
- [・平成9年度NACSIS-IR利用状況（上位10種）](#)

《教育・研修》

- [・研修情報の入手先](#)
- [・「平成10年度教育研修事業要綱」の発行](#)
- [・目録システム地域講習会（島根大学共催）の開催](#)
- [・日本研究上級司書研修への協力](#)

《講演会など》

- [・海外における日本情報の需要と供給に関する研究 - MsJane ThackerおよびMr. Ron Jant招へい -](#)

《その他》

- [・海外からの来訪者一覧（平成10年2月～4月）](#)
- [・人事異動（平成9年3月～4月）](#)
- [・学術情報センター刊行物一覧（平成9年度）](#)
- [・委員会報告（平成9年度）](#)

学術の総合情報センター（仮称）の建築状況

学術情報センターは、現在、筑波大学から大塚地区E館（文京区大塚）の一部を、東京大学から理学系研究科附属植物園（文京区白山）の一角をお借りしている状況であるが、センター創設当初からの悲願であった本部棟の新嘗が、平成7年度の補正予算で「学術の総合情報センター（仮称）」として認められ、これまで順調に工事が進められている。

文部省関係の建物としては、最高層となる地上23階建てで、また初の合同ビルでもあり、当センターの他に一橋大学の夜間大学院や、500人収容の大会議場と多目的利用が可能な中会議場の運営にあたる国立学校財務センターなども入居することになっている。

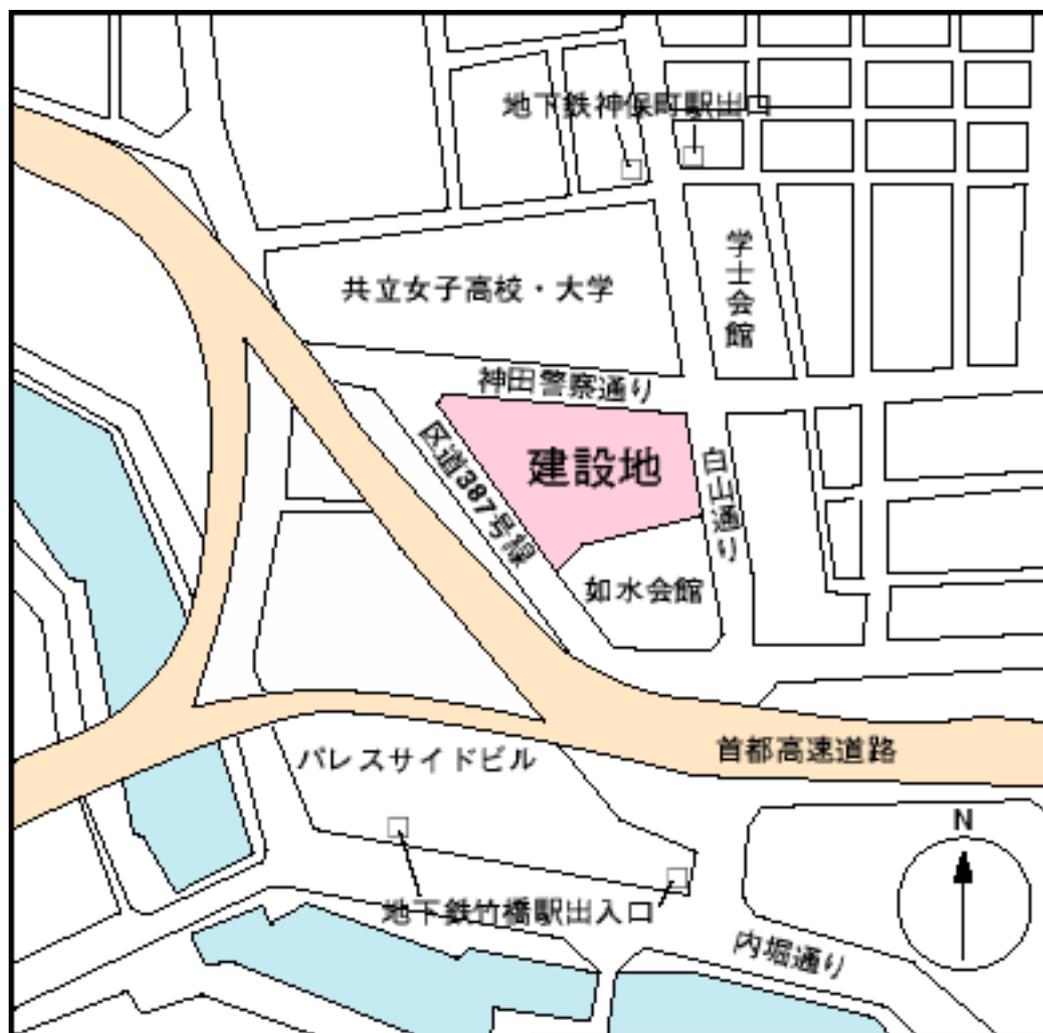
建設場所は、千代田区一ツ橋2丁目、旧一ツ橋講堂の跡地である。この地は、幕末までは「護持院ヶ原」と呼ばれた空地で、幾度も火災や地震による被害を受け、火災の延焼を防止するための火除地となっていた。地名の由来ともなっている護持院は、徳川五代将軍綱吉が湯島にあった知足院を一ツ橋の隣町である神田錦町に移し、筑波山護持院元禄寺と改称したもので、この護持院も、享保の大火により、文京区大塚の護国寺に移されたことなどが、遺跡の発掘調査で判った。当センターは、その護国寺のお膝元から、護持院ヶ原へ移転する。何か因縁めいたものを感じる。

写真は、平成10年4月初旬に撮影したもので、全体工事の62%を終了した段階である。平成11年度の竣功を目指しており、火災にも地震にも強い、インテリジェントビルディングが、学術情報センターの新しい「顔」になろうとしている。



〔建物の概要〕

- ・敷地面積 6,842.60m²
- ・延床面積 42,314.35m²
- ・階 数 地上23階
地下2階
- ・最高高さ 113.2m



[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

英国NACSIS-CAT参加機関の図書所蔵登録件数10万件突破

英国内の6大学等図書館によるNACSIS-CATへの登録のうち、図書所蔵登録件数が、平成10年2月21日（土）（日本時間）に10万件を突破した。これらの英国内の図書館との間では、1990年から英国内の日本語資料総合目録を作成する目的でプロジェクトが開始され、1991年12月より入力が始まっている。平成7年度末にプロジェクトが終了した後は、参加機関として引き続き利用され、登録件数も毎年順調に増えている。

今回の10万件突破は、ひとえに各参加機関各位のご尽力の賜物であり、この場を借りてお礼申し上げる。

現在参加している英国内の図書館の内訳は以下のとおりである。

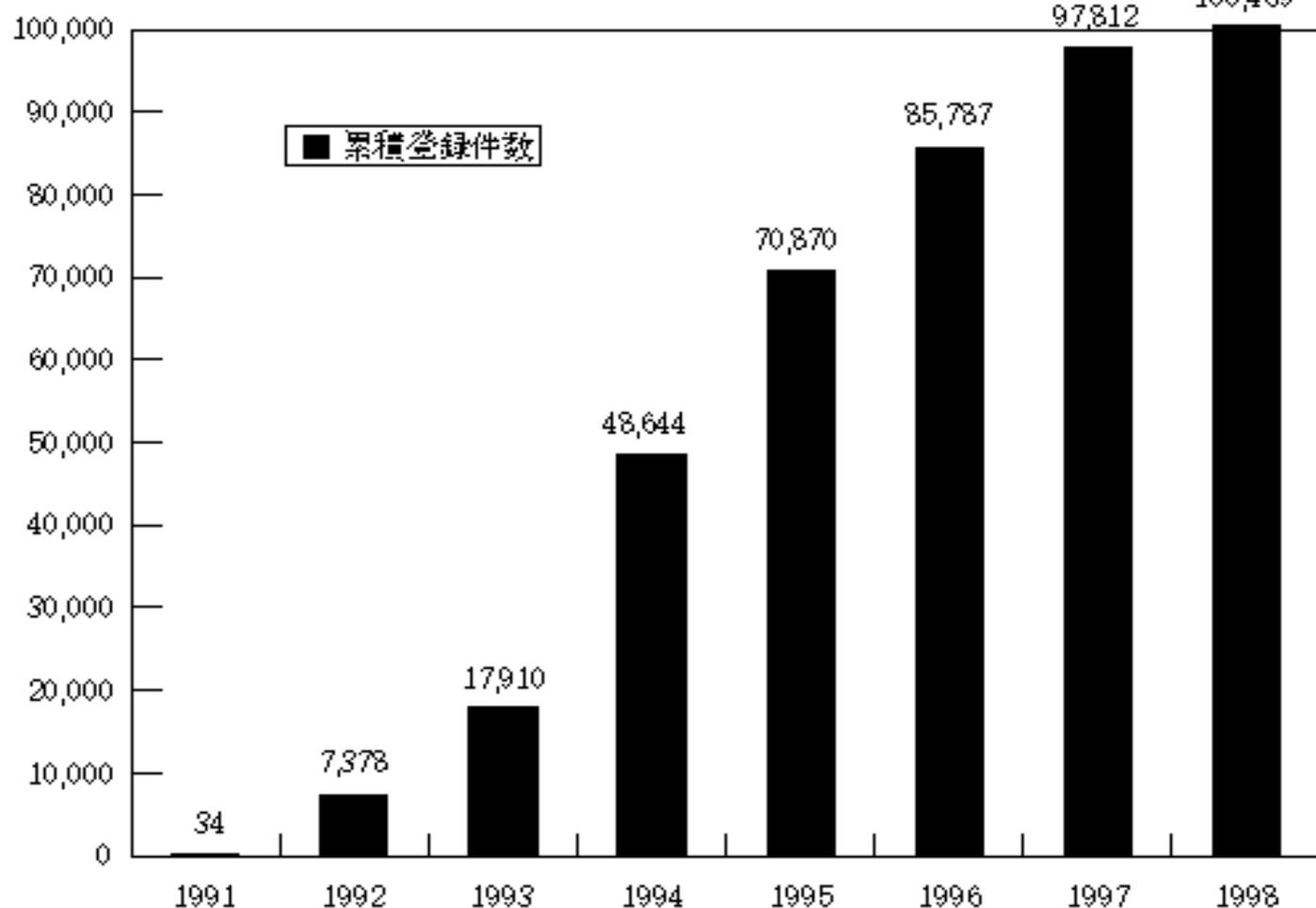
- ・英国図書館東洋オリエンタルコレクション
- ・ケンブリッジ大学図書館
- ・オックスフォード大学ボードレイン図書館
- ・シェフィールド大学図書館
- ・スターリング大学図書館
- ・ロンドン大学東洋・アフリカ研究学部図書館

なお、1991年からの図書所蔵登録件数の推移は次のとおりである。

英国CAT図書所蔵登録件数

1998年2月現在

登録件数



(国際事業係)

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

Webcat (総合目録データベースWWW検索サービス)

本運用開始

総合目録データベースのWWW検索サービスであるWebcatの本運用を、平成10年4月から開始した。本センターでは、平成9年4月からWebcatの試行サービスを行っていたが(本誌No.40参照)、既存サービスへの影響、システムの安定性などを見極めた結果、今回本運用を開始することとした。

このサービスで検索できるのは、NACSIS-CATで形成された全国の図書館で所蔵する図書と雑誌の目録所在情報で、平成10年4月現在、約450万件の目録情報と約3,500万件の所在情報を利用することができる。Webcatは、通常のWWWブラウザを使って利用することができ、利用料金は無料、利用者登録は不要となっている。URLは下記に示すとおりであるが、学術情報センターのホームページからたどることもできる。営利目的でなければ、他のホームページからリンクづけすることも認めている。

検索語は、カタカナ、ひらがな、ローマ字のどれでもかまわない。日本語をローマ字で入力しても、システムが自動的に判別して検索を行う。検索を実行すると、該当件数とともに、簡略な目録データがアルファベット順/五十音順に表示される。更に、簡略な書誌データなどの画面上の目録データ部分をクリックすれば、詳細な目録データや所蔵図書館名、図書館利用に関する情報などを次々に見ることができる。

本センターでは、このWebcatの公開により、基盤的な事業として実施している総合目録データベースの作成事業およびその成果である総合目録データベースそのものを広く知っていただくとともに、インターネットを通じて、国内外の広範な研究者などに学術情報センターの事業活動に関する理解を深めていただけるものと期待している。

URL <http://webcat.nacsis.ac.jp/>

NACISIS Webcat

総合目録データベースwww検索サービス

Webcatは、学術研究利用のために供するものであり、営利のための利用はできません。
なお、Webcatで検索した資料について、図書館に利用を申し込む際には、各図書館で利用条件が異なる場合がありますので、あらかじめ電話等で御確認ください。

[\[利用の手引き\]](#) || [\[English version here\]](#)

全資料 図書 雑誌

タイトル :
著者名 :
出版者 :
出版年 :
標準番号 :
フリーワード:

検索開始

検索値クリア

[\[目録情報課ホームページ\]](#) || [\[学術情報センターホームページ\]](#)

NACSIS webcat: 簡略表示

[\[利用の手引き\]](#) || [\[検索画面に戻る\]](#)

該当件数は 17 件です

1. [WORLD CUP USA94への道](#) -- スポニチ・エンタープライズ, 1994
2. [すべてのサッカー場で逢おう : ワールドカップのスターたちと日本代表の光と影 / 加部究, 伯井寛著](#) -- パラス, 1994
3. [ぼくたちの洲杯\(ワールドカップ\) : サポーターが見た! フランスへの熱き軌跡 / 吉沢康一監修](#) -- 光文社, 1998
4. [グレート・ゴール : ワールドカップ・サッカー 1930~1986 \[ビデオ\(カセット\)\]](#) -- 文藝春秋, 19-- -- (Sports Graphic Number Video Version)
5. [サッカー世界のプレー : ワールドカップ西ドイツ大会 / 牛木素吉郎著](#) -- 講談社, 1975. -- (講談社スポーツシリーズ)
6. [サッカー世界のプレー : ワールドカップのスターたち / 牛木素吉郎構成 ; 岸本健写真](#) -- 講談社, 1970
7. [ザ・ワールドカップ : 強者たちの壮絶なる戦い / 永井透著](#) -- フットワーク出版, 1998
8. [スキニー・ワールドカップのすべて / 志賀仁郎著](#) -- ベースボール・マガジン社, 1976
9. [マイウェイ・マイルスキー : ワールドカップへの挑戦 / 海和俊宏著](#) -- 筑摩書房, 1987
10. [燃えつきるまで : ワールドカップ・サッカー・ストーリー / ピート・デイヴィス著 ; 大窪一志訳](#) -- 図書出版社, 1994

(目録情報課)

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

日仏会館遡及入力の完了

平成7年度から総合目録データベースの遡及入力支援事業の一環として行っていた、日仏会館のフランス語資料の遡及入力が、平成9年度末をもって完了した。

総合目録データベースに収録される洋図書の中で、英語資料については相当数の登録がなされており、書誌データを作成する上で参照するための英語圏のMARCも充実している。しかし、他の言語の資料については、英語資料に比べて登録件数が少なく、効率的にデータ作成をするための各国MARCも未整備であるという問題があった。この事態を解消するために、比較的まとまったフランス語コレクションである日仏会館の蔵書を入力して、総合目録データベースの充実を図ることとし、平成7年度から3か年計画で遡及入力を実施してきた。

日仏会館は、1924年にポール・クローデル、渋沢栄一らにより創立され、以来日仏の学術・文化交流の拠点として活動を続けている。1995年春には、お茶の水から恵比寿ガーデンプレイス近くに移転した。その2、3階にある図書室は、フランス政府によって運営される専門図書館であり、日本の大学図書館には少ない戦前からのフランス語資料を数多く所蔵している。

現在、フランス語資料を中心とした45,000冊の図書、200点の新作雑誌・新聞、マイクロフィルムなどを所蔵しており、オンライン検索やCD-ROMなどによる情報提供活動を行っている。（日仏会館のURLは、<http://www.ijjnet.or.jp/MFJ/index-j.html>）

今回の遡及入力により、日仏会館が所蔵する図書のうち約3万4千冊のデータが入力されたことになる。その約60%にあたる19,800件については、総合目録データベースに新たな目録データとして登録され、フランス語資料の目録データの充実が図られた。これら日仏会館所蔵の目録データは、目録システムから利用できるほか、Webcat（総合目録データベースWWW検索サービス）からも検索利用することができる。

今後の遡及入力支援事業としては、平成10年度に遡及分を含めたドイツMARCの導入を計画している。本センターとしては、今後とも様々な形での遡及入力支援を図ってゆきたい。

日仏会館のURL：<http://www.ijjnet.or.jp/MFJ/index-j.html>

WebcatのURL：<http://webcat.nacsis.ac.jp>

（目録情報課）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

新情報検索サービス移行の進捗状況

学術情報センターでは、サービスシステムのオープンシステムへの移行を進めており（センターニュースNo.43（1998.3）参照）、その一環として、情報検索サービス（NACSIS-IR）のオープンシステム化を平成7年度から続けて来ました。

新情報検索サービスは、従来からのコマンドによる対話形式のユーザインタフェースに加えて、平成9年度は、WWWを利用した画面誘導型の検索システムを開発しました。このWWW対応検索システムは、次のような機能を提供します。

1．検索方法

検索したいデータベースを同時に複数選択することが容易になりました。

1つの単語を入力しての検索（簡単検索）や、いろいろな条件を組み合わせた検索（複合検索、絞り込み検索）が可能です。また、従来からのコマンドによる検索も用意しています。

2．表示方法

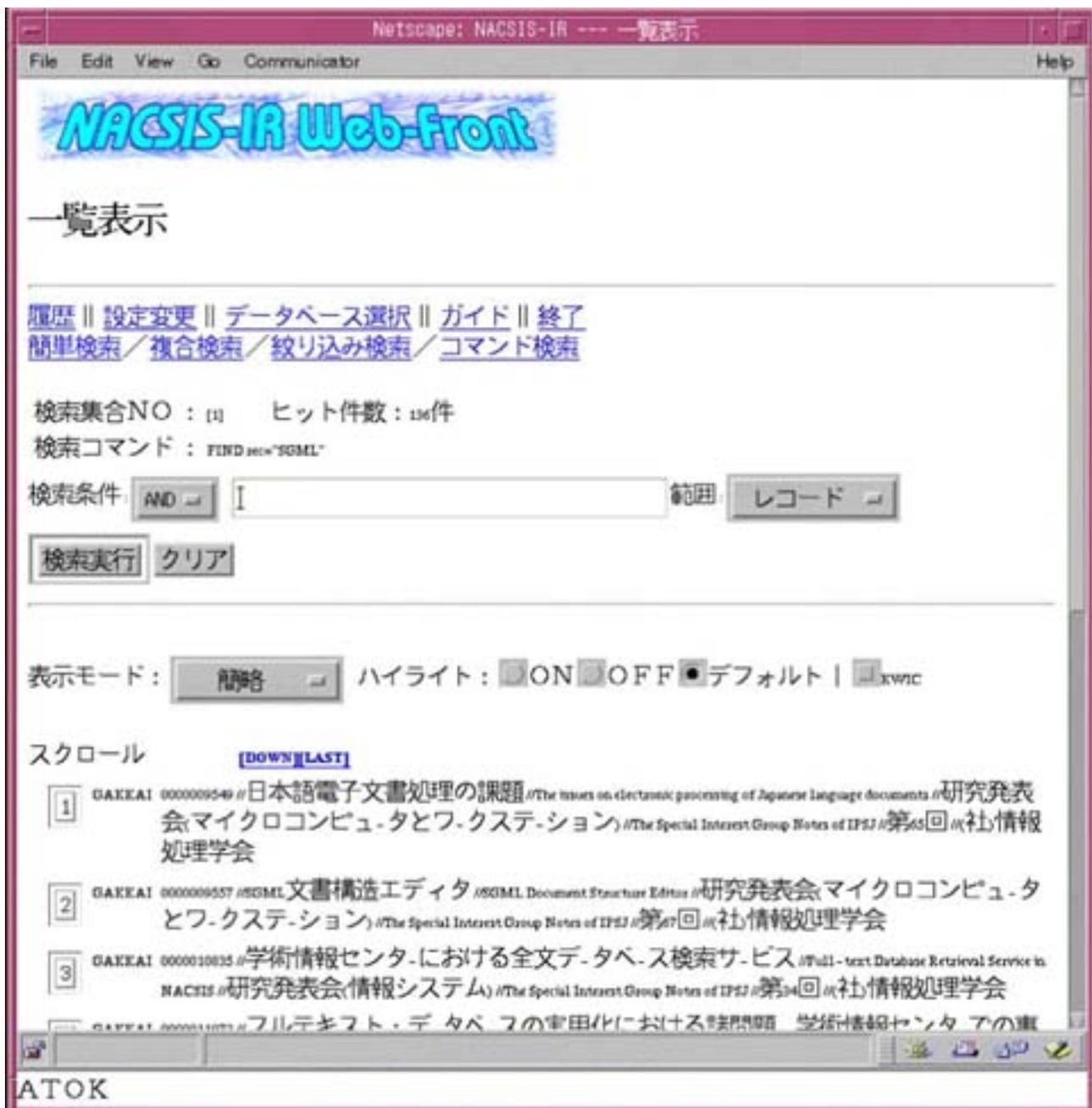
ヒットしたレコードの表示形式もメニューから選択することができ、検索したことばの該当部分の強調表示の設定も容易となりました。また、データ内容の表示に際して、和文／欧文の切り換えが可能です。

現在、WWW対応検索システムを含めて、試験公開の準備を行っております。公開時期など決まり次第、学術情報センターWebページなどでお伝えします。

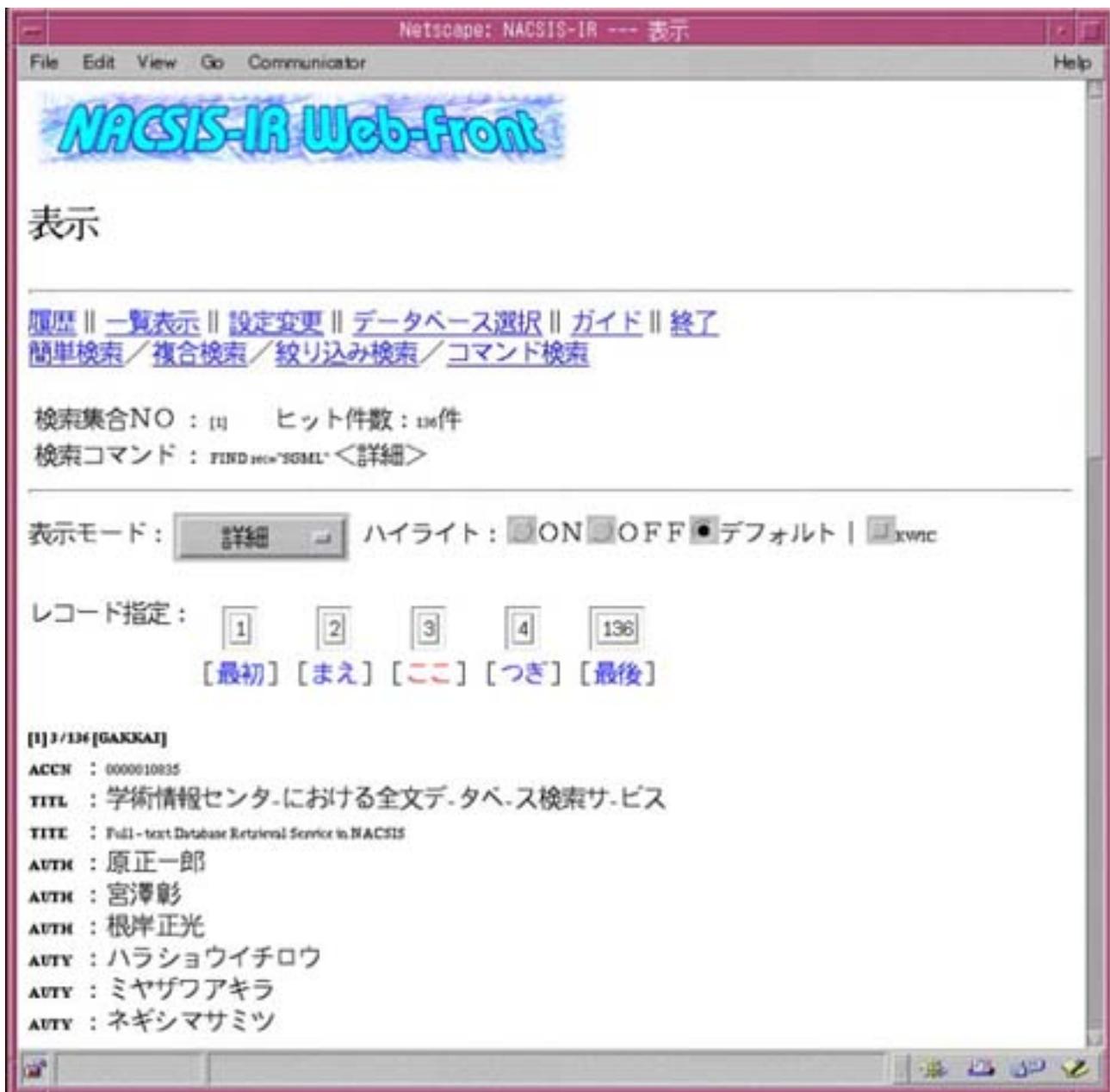
画 面 例



简单检索



一覧表示



詳細表示

(データベース課)

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

アジア情報調査（平成9年度活動報告）

学術情報センターでは、平成7年度下期以来、国際交流基金アジアセンターから研究助成を得て「アジア・スーパーハイウェイ上のアジア情報」（研究代表者：小野欽司）と題する調査研究を行っている。これは、継続中の科学研究費国際共同研究「海外における日本情報の需要と供給に関する研究」（研究代表者：井上如）と、昨年度完了した「学術情報の国際交換に関する実証研究」（研究代表者：小野欽司）およびその後開始された「学術情報の国際的共有に関する実証研究」（研究代表者：小野欽司）のタイ・プロジェクトと連携する活動である。

アジアセンター助成研究は、センター内では「アジア情報調査」と略称している。第一段階の相手国としてタイ国を選び、タイ国における日本情報および日本におけるタイ情報に関する需要を調査し、情報流通に関する問題点の把握と解決を試みてきた。その成果については年次毎に報告書として刊行し、一部をWWWでも公開している。

第3年次である平成9年度は、第1年次、第2年次に実施した事業の更なる推進と、範囲の拡大を念頭におき、以下の内容を実施した。

- (1) アジアにおける日本研究者の情報需要に関する調査
- (2) タイにおける日本研究者および図書館職員に対する研修
- (3) NACSIS-IRおよび文献複写利用に関するモニターの実施
- (4) タイにおける日本語資料総合目録の構築に関わる調査
- (5) ネットワーク上でのタイ語関連情報に関わる調査

以上のうち(2)の研修では、97年9月にタイからの招へい研修を実施し、情報入手のためのインストラクター養成を行った（センターニュースNo.42参照）。さらに97年12月にバンコックのチュラロンコーン大学、タマサート大学およびカセサート大学において研修を開催した（同No.43参照）。

また、(3) NACSIS-IRおよび文献複写利用に関するモニターは、96年度より利用実験を行っており、国内の大学図書館の協力を得、タイの研究者に日本の研究情報を提供している。(4) タイにおける日本語資料総合目録の構築は、バンコック日本文化センターで構築が進められている。そして(5) タイ語関連情報調査の成果である情報提供サーバ（<http://thaigate.rd.nacsis.ac.jp/>）については、タイ、日本の他米国、オーストラリアなど各国から利用されている。

本調査研究は、日本とタイとの間の双方の情報流通促進のための方法確立について、大きな成果を挙げている。特に、タイ国内の日本研究者にとって、日本関連情報の入手・利用のための環境が整備されたことと、日本国内のタイ研究者にとってタイ関連情報の入手・利用のための環境が整備されたことは、前進であった。

国際交流基金をはじめ、関係方面の厚いご支援を賜ったことを記して感謝申し上げます。

（国際事業係）

The Third Party Review Committee Report

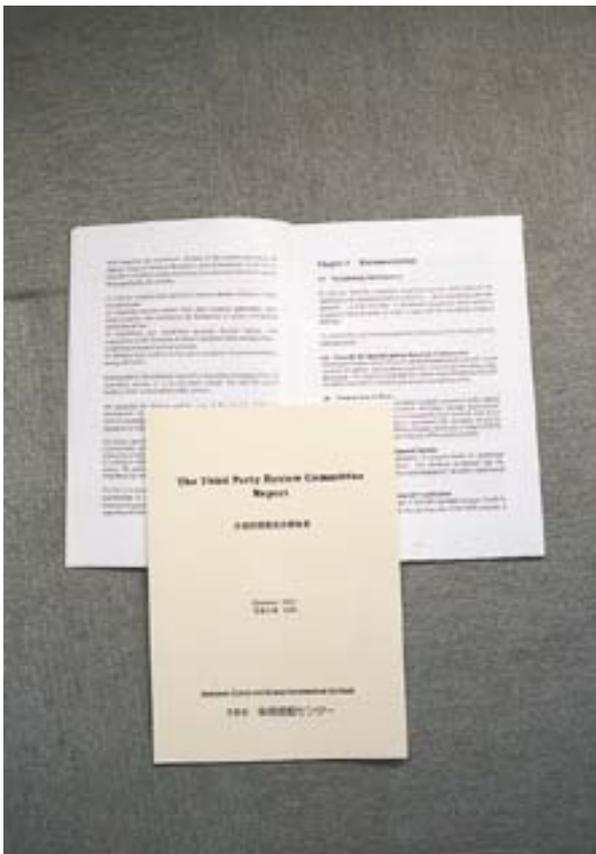
(外部評価委員会報告書) 刊行

平成9年10月14日から10月17日に実施した外部評価委員会の報告書が本年2月に刊行された。

平成8年度に行った外部評価委員会(平成8年6月)の成果を踏まえて、今回は特に本センターの研究開発活動を対象に、海外からの専門家・有識者による国際的な視野からの点検・評価を行うことを目的とした。

この外部評価委員は、Dr. Walter L. ENGLドイツ・アーヘン工科大学名誉教授、Dr. James L. FLANAGAN 米国・ラトガース・ニュージャージ州立大学副学長、Professor & Dr. Bjorn PEHRSON スウェーデン王立工科大学情報通信研究所長・教授、Dr. Brian PERRY 英国・元大英図書館研究開発部長、Dr. John R. PIERCE 米国・スタンフォード大学名誉教授に引き受けていただいた。

この報告書(英文)には、その日本語訳も併せて掲載しており、国内外の研究機関、大学等関係機関などに配付した。A4版36頁。





左から，Perry博士，Pierce夫人，Pierce博士，Engl博士，
Pehrson博士，猪瀬所長，井上副所長，小野研究開発部長
(総務課)

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

WAINS 4 : 第4回学術情報ネットワークとシステムに関する

国際ワークショップの開催

学術情報センター教授

相澤 彰子

1998年2月12日から13日の2日間、学術情報センターの軽井沢国際高等セミナーハウスにおいて、WAINS 4 (The Forth International Workshop on Academic Information Networks and Systems, 第4回学術情報ネットワークとシステムに関する国際ワークショップ) が開催された。ワークショップはタイ国を中心に海外からの招へい者8名を含む23名の参加を得て盛況のうちに終了した。

WAINSはアジア地域における学術研究情報システムおよびネットワークについて、日本、海外の研究者が一堂に会し、論文発表、デモンストレーションをする国際ワークショップで、1995年より毎年開催されている。第4回にあたる今回のワークショップでは計13件の発表が行われ、国際回線を利用したアジア地域での学術情報の交換促進の試みとして、ネットワークビデオ会議、衛星画像転送、マルチメディアデータベース、多言語処理、遠隔指導など様々な側面からのアプローチが紹介された。



なおWAINS 4は、文部省科学研究費国際学術共同研究（学術情報の国際的流通共有

システムに関する実証研究：研究代表者 小野欽司）および国際交流基金（アジア・スーパーハイウェイ上のアジア情報：研究代表者 小野欽司）により開催した。

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

学術情報センター教員等の任期に関する規則

平成10年4月9日

規則第6号

(趣旨)

第1条 大学の教員等の任期に関する法律(平成9年法律第82号。以下「法」という。)第3条及び第6条の規定に基づく学術情報センター教員等の任期については、この規則の定めるところによる。

(教育研究組織, 職及び任期)

第2条 任期を定めて任用する教員等の教育研究組織, 職及び任期は, 別表に定めるところとする。

(同意)

第3条 任用に際しては, 文書により, 任用される者の同意を得なければならない。

(周知)

第4条 この規則を定め, 又は改正したときは, 学術情報センターニュース等により, 広く周知を図るものとする。

附 則

この規則は, 平成10年4月9日から施行する。

別表(第2条関係)

| 教育研究組織 | 職 | 任 期 | 再任の可否 |
|-------------------------------|---------------------------|-----|-------|
| 開発研究系開発統括研究部門 (法第4条第1項第2号) | 助 手 (主として研究に従事する者に限る。) | 5年 | 可 |

(人事係)

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

国立民族学博物館における学術情報センターシステムの利用

国立民族学博物館情報管理施設情報サービス課

文献図書係長 河野 富行

1. はじめに

国立民族学博物館は、民族学に関する調査・研究を行うと同時に、民族資料の収集、保管、展示公開そして共同研究などの活動を行い、これらを通して世界の諸民族の社会と文化に関する情報を人々に提供し、諸民族についての認識と理解を深めることを目的としている。大学共同利用機関として、1977年に大阪万国博覧会の跡地の万博公園の中に設立され、昨年度は開館20周年の記念行事としてさまざまな催しを行った。

本館は管理部、研究部、情報管理施設から成り、情報管理施設は標本資料の収集と展示を行う情報企画課、館全体のコンピュータシステムの管理を行う情報システム課、映像・音響資料と文献図書資料の収集と管理を行う情報サービス課の3つに分かれている。

2. データベースの作成と利用

開館以来、収集した資料の管理と有効利用のため、ホストコンピュータを使用して種々のデータベースを作成し、現在は標本資料、図書、雑誌、映像音響資料、服装関連雑誌記事などの各データベースを所有している。これらのデータは、昨年MMIR（マルチメディア情報検索システム）にも移行し、文字検索によって標本やフィールドワークの写真・スライドの静止画像を見たり、民話や昔話などの声も聞くことができる。

3. 学術情報センターシステムの利用

図書館管理システムは開館当初から本館独自に開発したシステムを使用しており、学術情報センターに接続したのは平成4年10月で、他の国立大学の図書館などと比較すると遅い方である。したがって現在登録している図書の冊数はセンター接続後のものだけで、約3万冊と所蔵冊数（約37万冊）に比べて極めて少ない。しかし、平成5年からインターネットでの検索サービスを開始し、館外からも中国語、韓国語の図書を除いた全ての蔵書を検索することができるようになっている。

4. 今後の課題

現在の目録作成システムは学術情報センターが規定するEXC文字を表示することもダウンロードすることも出来ない。したがって本館が多数所蔵するアラビア語、サンスクリット語、ベトナム語など各種言語の文献はNACSIS-CATに登録できず、ローカルでの目録作成のみに留まり、このことが登録冊数の少ない一因ともなっている。また中国語の文献は市販の中国語ソフトを使用してパソコンでデータを作成しているが、まだ公開するに至っていない。平成11年度に図書館管理システムを更新する予定であり、その際には新CATに対応でき、これらの問題もクリア出来れば、と考えている。

国立科学博物館の学術情報センターシステムの利用

国立科学博物館図書室

平野 淳子

1. はじめに

まず国立科学博物館について簡単に紹介してみよう。

国立で唯一の科学博物館である当館は、平成9年で120年を迎えた。歴史的にはかなり古く、今日に至るまでに場所、規模などいろいろの変遷があったが、現在は上野地区に庶務部、普及部、教育部、新宿地区に4研究部（動物、地学、人類、理工学の各研究部）、筑波地区に植物研究部と筑波研究資料センター（昭和記念館と実験植物園）、目黒地区（港区白金台）に自然教育園と4カ所に分散している。図書室（職員は4名：図書専門員1名、非常勤3名）は新宿地区にあり（正式名称は「国立科学博物館普及部普及課広報図書係」の一部）、図書資料の収集、管理、閲覧やレファレンスなどで普及教育活動、研究活動を支援している。

当博物館は、自然史科学、理工学関係の研究および科学教育の普及活動、展示などが活動の中心であるため、図書資料もこの分野のものがほとんどで、文科系の資料や一般教養的な図書などはほとんど所蔵していないのが特徴といえる。

利用者は当博物館の研究者（研究官、客員研究員、大学院生など）はもちろん一般にも公開されているので、大学生（含む中学・高校生）、他機関の研究者、アマチュア研究者など多くの人たちに利用されている。

| | 平成8年度 | 平成9年度 | | 平成8年度 | 平成9年度 |
|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 蔵書数 | 80,706 | 81,750 | 文献複写受付 | 1,098 | 1,280 |
| 雑誌タイトル | 8,362 | 8,469 | 依頼 | 168 | 173 |

2. 学術情報センターシステムの利用

国立科学博物館が全館ネットワーク化を行ったのは平成7年度で、図書室もこの機会に図書システムを導入、学術情報センターとは平成8年3月末に接続、以前は雑誌のみの参加であったが、これで単行本の入力も可能になり、雑誌・単行本ともに平成8年5月よりNACSIS-CATを利用して入力を開始した。現在我々は雑誌について、学術情報センターへの未登録資料を登録し、登録済資料はデータ更新をしながら当館のデータベース化作業を優先して行っている。これは当館の研究者はじめ、館外からの利用者の大部分が、国内外の学会、研究所、大学そして博覧館などの発行する学術研究雑誌の利用者であるためである。また文献複写依頼・受付作業を正確に行うために上記件数以上の検索作業があり、学術情報センターのデータを大いに利用させてもらっている。当館のこれらのデータは当館ホームページ（URL <http://www.kahaku.go.jp/>）の図書室から検索できる。

徐々にデータが増えていくのは嬉しいことではある。また、当館所蔵図書資料の遡及入力、NACSIS-ILL、学術雑誌目次速報データベースなど抱える問題が沢山あるのも現実であるが、いつも「利用者へのサービス」を念頭に仕事をしていきたいと考えている。

平成10年度のサービス休止予定

平成10年度の各サービス休止予定は、次のとおりです。

これ以外にサービスを休止する必要がある場合は、その都度各サービスのオンラインニュースなどでお知らせします。

| サービス | 休 止 日 時 |
|------------|---|
| 目録所在情報サービス | <ul style="list-style-type: none">・土曜日，日曜日，国民の祝日および振替休日・毎月第4木曜日の12時以降・年末年始（概ね12月26日から1月4日まで） |
| 情報検索サービス | <ul style="list-style-type: none">・土曜日の14時以降・日曜日，国民の祝日および振替休日・年末年始（概ね12月29日から1月4日まで）・3月31日（年度末処理のため） |
| 電子メールサービス | <ul style="list-style-type: none">・毎月の最終水曜日（ただし，3月を除く）の12時から17時（保守作業）・3月31日（保守作業および年度末処理のため） |

なお，電子図書館サービス，WWWサービス（研究者公募情報提供，学会ホームビレッジ）およびWebcatの休止予定は，オンラインにてお知らせいたします。

（システム管理課）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

失効した利用者番号での継続受付期限（6月26日）

学術情報センターシステム（情報検索サービス、電子メールサービスおよび国際電子メールサービス）の継続手続きを継続受付期間内（平成10年2月2日（月）から3月23日（月））に行わなかった場合は、平成10年4月1日（水）以降の利用はできなくなります。本センターに直接申請した利用者で継続を希望する場合は、失効した利用者番号で情報検索サービス（または電子メールシステム）に接続すると「継続の有無」が表示されますので、継続すると答えることにより継続の申請を受け付けています（ただし、継続の手続きが終了するまで1～2週間利用できなくなります）。失効した利用者番号での継続の手続きは平成10年4月1日（水）から6月26日（金）まで受け付けますので、継続を希望する利用者はお早めに手続きを行ってください。（この期間に継続手続きを忘れた場合は、新規でお申し込みいただくこととなります。）

なお、大型計算機センター経由で申請した利用者はこの方法では継続できませんので、所属する大型計算機センターから第二センター申請コマンドにより新規で申請を行ってください。

（共同利用第一係）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

平成10年度利用説明会開催予定

本センターの各サービスを利用していない機関または研究者などを対象として、下記の日程で利用説明会を開催いたします。この利用説明会では、各サービスの紹介、概要説明、申請方法の説明などを行っています。これらの説明会はシステムの操作方法などの講習会ではありませんのでご注意ください。

1. 目録所在情報サービス利用説明会

1.1 主な内容

- (1) 学術情報センターの概要
- (2) 目録所在情報サービスの概要
- (3) 学術情報センターとの接続方法
- (4) 利用申請方法
- (5) 研修の申込み方法
- (6) 質疑応答・個別相談

1.2 開催日時および申込み締切 第1回は5月29日(金)に募集を締切ました。

| | 開催日時 | 募集開始 | 申込み締切 |
|-----|---------------------------------|-------------------|--------------------|
| 第2回 | 平成10年9月25日(金) 13:30 ~ 16:30 | 平成10年7月1日 (水) | 平成10年9月18日 (金) |
| 第3回 | 平成10年11月27日(金) 13:30 ~ 16:30 | 平成10年10月1日 (木) | 平成10年11月20日 (金) |
| 第4回 | 平成11年1月29日(金) 13:30 ~ 16:30 | 平成10年12月1日 (火) | 平成11年1月22日 (金) |

1.3 対象機関

目録所在情報サービスに未接続の下記の図書館職員、電子計算機担当者、ネットワーク担当者など(1)国公立大学、(2)短期大学、(3)高等専門学校、(4)文部省および文化庁の施設・機関など、(5)国公立試験研究機関、(6)学術研究法人および学会、(7)都道府県・政令指定都市立図書館など

1.4 申込み方法

先着17機関とさせていただきますので、希望日を共同利用第一係まで電話(03-3942-6933)で予約(確認)のうえ、(1)参加希望の説明会名(目録所在情報サービス利用説明会)、(2)参加日(第 回 月 日)、(3)機関名、(4)機関の所在地、(5)参加者の職名および氏名(2名以内)、(6)連絡先の電話番号を記入して共同利用第一係までFAX(03-3942-6797)でお申込みください。FAXの書式例は教育研修事業要綱に、「利用説明会申込み用FAX送信票」が添付されていますのでご利用ください。

2 . 情報検索サービス利用説明会

2 . 1 主な内容

- (1) 学術情報センターの概要
- (2) 情報検索サービスの概要
- (3) 接続方法および簡単な使用方法
- (4) 実習
- (5) 利用申請方法
- (6) 研修の申込み方法
- (7) 質疑応答・個別相談

2 . 2 開催日時および申込み締切

| | 開 催 日 時 | 募 集 開 始 | 申込み締切 |
|-----|--------------------------------------|------------------------|-----------------------|
| 第1回 | 平成10年 9 月 7 日 (月) 14:00 ~ 16:30 | 平成10年 4 月 1 日 (水) | 平成10年 8 月31日 (月) |
| 第2回 | 平成10年11月 9 日 (月) 14:00 ~ 16:30 | 平成10年 4 月 1 日 (水) | 平成10年11月 2 日 (月) |

2 . 3 対象者

情報検索サービスの利用を予定または検討している，下記の教員，図書館職員，研究者など(1)国公立大学，(2)短期大学，(3)高等専門学校，(4)文部省および文化庁の施設・機関など，(5)国公立試験研究機関，(6)学術研究法人および学会など

2 . 4 申込み方法

先着34名とさせていただきますので，希望日を共同利用第一係まで電話(03-3942-6933)で予約(確認)のうえ，(1)参加希望の説明会名(情報検索サービス利用説明会)，(2)参加日(第 回 月 日)，(3)機関名，(4)機関の所在地，(5)参加者の職名および氏名，(6)連絡先の電話番号を記入して共同利用第一係までFAX(03-3942-6797)でお申込みください。FAXの書式例は教育研修事業要綱に，「利用説明会申込み用FAX送信票」が添付されていますのでご利用ください。

申込み・問い合わせ先：学術情報センター管理部共同利用課共同
利用第一係

電 話 03-3942-6933 FAX 03-3942-6797

(共同利用第一係)

学術雑誌総合目録欧文編1998年版の編集状況

平成9年11月1日から平成10年3月31日までを調査期間として、学術雑誌総合目録欧文編の全国調査を行いました。この調査にご協力いただいた参加館の皆様には、改めてお礼申し上げます。

今回の調査には863機関，1,259館（室）から参加いただいております（平成10年5月18日現在）。前回の欧文編1994年版の調査に比べ、機関数で約30%の増加です。提出方法別の内訳は以下の表のとおりです。オンライン，磁気媒体，CD-ROMで提出する参加館を合わせますと，全体の約80%を占め，特にオンラインで提出される図書館が全体の約50%に達しています。

参加館数一覧表：提出方法別（複数回答）

| 提出方法 | | 機関別数 | 参加組織数 |
|--------|--------|------|-------|
| 書誌 | 所蔵 | | |
| オンライン | オンライン | 462 | 656 |
| オンライン | 磁気媒体 | 36 | 114 |
| CD-ROM | CD-ROM | 236 | 264 |
| データシート | データシート | 212 | 265 |

また，5月に学術雑誌総合目録の刊行形態についてのアンケートを，図書館を対象として実施いたしました。今後の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

（目録情報課）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

JOIS利用料金の改定

科学技術振興事業団科学技術情報事業本部（JICST）からJOIS利用料金を平成10年4月1日から改定する旨の連絡がありましたので、改定後のJOIS料金をお知らせします。

なお、学術情報センター（NACSIS）を經由してJOISを利用している方は、今までどおり、基本料金（改正後は2,000円/月）は無料となります。

また、大学などの利用者については上段かっこ内の利用料金で利用できます。

JOIS利用料金，JOIS利用申込の詳細については，JICSTの各支部・支所にお問い合わせください。

（１）改定後のJOIS利用料金

| データベース名 | 接続料金 | | オンライン回答出力料金 | | | | オフライン手配料金 | オフライン回答出力料金 | |
|---------------------------|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|-----------|-------------|-------------|
| | GUI方式 1ファイルにつき | コマンド方式 | T形式 | K形式 | A,L形式 | F,S,C形式 | | A,L方式 | F形式 |
| | 円/回 | 円/分 | 円/件 | 円/件 | 円/件 | 円/件 | | 円/件 | 円/件 |
| JICST科学技術文献ファイル | (400) 600 | 100 | 25 | (25) 27 | (35) 115 | (30) 110 | 700 | (40) 120 | (35) 115 |
| JICST速報ファイル | | | 25 | 25 | (35) 100 | (30) 95 | | (40) 105 | - - |
| JICST科学技術研究情報ファイル | | | 25 | (25) 27 | (35) 115 | (30) 110 | | (40) 120 | (35) 115 |
| JICST科学技術医学文献ファイル (英文) | | | 25 | (25) 27 | (35) 115 | (30) 110 | | (40) 120 | (35) 115 |
| MEDLINE医学文献ファイル | | (40) 65 | 5 | (5) 7 | (30) 40 | (25) 35 | 700 | (35) 60 | (30) 55 |
| MeSH医学用語ファイル | | 60 | - | - | - | - | - | - | - |
| JICST資料所蔵目録ファイル | | 60 | - | - | - | - | - | - | - |
| JICST・医中誌国内医学文献ファイル | 100 | 25 | 27 | 135 | 130 | 700 | 140 | 135 | |
| 食品産業情報ファイル | 100 | 25 | 27 | 110 | 105 | | 115 | 110 | |

| | | | | | | | | | |
|----------------------|--------------|------|------|------|---------|------|-----|------|------|
| 大阪市都市工学情報ファイル | 600 | 100 | 25 | 27 | 120 | 115 | 700 | 125 | 120 |
| 日刊工業記事ファイル | 600 | 100 | 25 | 27 | 125 | 120 | | 130 | 125 |
| 日経産業新聞ファイル | | | | | W形式 | | | W形式 | |
| | | | | | 145 | | | 150 | |
| BJICST科学技術文献ファイル | GUI方式の対象としない | (30) | (30) | (30) | (70) | (65) | | (75) | (70) |
| | | 60 | 35 | 37 | 145 | 140 | | 150 | 145 |
| BJICST・医中誌国内医学文献ファイル | | 60 | 35 | 37 | 175 | 170 | | 180 | 175 |
| JAPICDOC医薬文献抄録ファイル | 600 | 130 | 25 | 27 | 195 | 190 | 200 | 195 | |
| JICST化合物辞書名称ファイル | (400) | 600 | 60 | I形式 | F.S.O形式 | 50 | | | |
| | 600 | | | 15 | (25) | | | | |

(注) オンライン回答出力およびオンライン回答出力でA形式およびL形式を指定し、抄録が付与されていなかった場合、当該回答出力料金はF形式料金の適用となります。

出力形式をオプション設定できるO形式、U形式については、A形式(但し、NIKKEI-TECおよびNK-MEDIAはW形式)の出力料金と同額とし、抄録が付与されていない場合、F形式料金適用(但し、NIKKEI-TECおよびNK-MEDIAのW形式は適用外)。

原子力情報ファイル、研修ファイルは、無料

出力形式 A:全項目(抄録付), L:物質索引語を除く全項目, F:抄録, 物質索引語を除く全項目, S:書誌的な項目(記事番号, 整理番号, タイトル, 著者名, 書誌事項), T:タイトルのみ, K:一部項目(タイトル, 分類コード, キーワード), W:新聞記事データベースの全文記事(但し図・表・写真を除く), C:記事番号または整理番号, O:出力したい項目を指定する形式(一般的な指定), U:出力したい項目を指定する形式(固定的な指定)

JCHEM出力形式(JICST化合物辞書名称ファイル) I:整理番号, 日化辞番号, 物質タイプ, 被置換日化辞番号, 相互参照日化辞番号, F:全項目, S:慣用名を除く全項目, O:出力したい項目を指定する形式

(2) JOISから利用できるSTNInternationalに搭載のデータベース

1. コマンド方式利用料金

| データベース名 | 接続料金 | オンライン回答出力料金 | | | | | | | |
|---------|--------|-------------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | コマンド方式 | T形式 | K形式 | A, 方式 | L形式 | F形式 | S形式 | C形式 | R形式 |

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 円/分 | 円/件 | 円/件 | 円/件 | 円/件 | 円/件 | 円/回 | 円/件 | 円/件 |
| CAplusファイル | 352 | 29 | 29 | 258 | - | 123 | 93 | 18 | - |
| REG-NAMEファイル | 590 | - | 79 | - | - | 158 | - | - | 14 |
| INSPECファイル | 133 | - | - | 246 | 246 | 246 | 246 | - | - |

2. GUI方式利用料金

| データベース名 | 接続料金 | オンライン回答出力料金 | | | |
|--------------|---------|-------------|-----|------|-----|
| | GUI方式 | T形式 | K形式 | A,方式 | F形式 |
| | 円/1ファイル | 円/件 | 円/件 | 円/件 | 円/件 |
| CAplusファイル | 840 | 25 | - | 479 | - |
| REG-NAMEファイル | | - | 25 | - | 624 |
| INSPECファイル | | 25 | - | 329 | - |

・CAplus出力形式 A：全項目（抄録付），F：抄録を除く全項目，S：書誌的な項目（記事番号，整理番号，タイトル，著者名・発明者名，書誌事項），C：記事番号のみ，T：タイトルのみ，K：一部項目（タイトル，分類コード，キーワード，CAS登録番号）

・REG - NAME出力形式 F：全項目，R：CAS登録番号，優先・非優先・置換・廃止のCAS登録番号，K：CA索引名のみ

・INSPEC出力形式 A：全項目（抄録付），L：物質索引，天体物体，元素記号，物性データを除く全項目，F：天体物体，元素記号，物性データ，抄録を除く全項目，S：書誌的な項目（記事番号，整理番号，タイトル，著者名・発明者名，書誌事項），C：レコード番号のみ，T：タイトルのみ，K：一部項目（タイトル，分類コード，キーワード，天体物体，元素記号，物性データ）

（共同利用第二係）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

研究者公募情報サービスの実施状況

各大学等機関から研究者の公募情報を収集し学術情報ネットワークを介して公開する「研究者公募情報サービス」の実施状況をお知らせします。

平成9年5月20日に本サービスを開始して以来、以下のとおり多数の方々にご利用いただいています。今後ともより一層のご活用をお願いします。

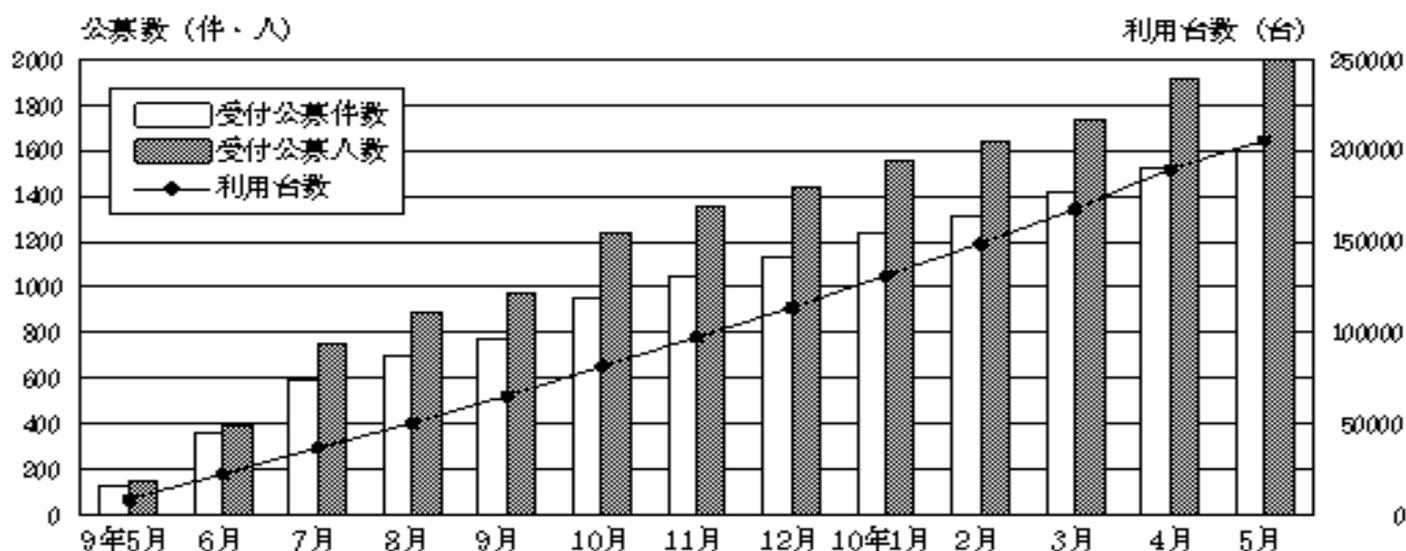
1. 利用状況（平成10年5月19日現在）

各機関から提供を受けた公募情報は速やかにデータベース化し、「研究者公募情報サービス」ホームページで公開しています。

(1) 公募情報の提供数 316機関・1,595件（1,995名分）

(2) アクセスされたコンピュータの数（累積） 約20万5千台

| | 国立 | 公立 | 私立 | 合計 |
|----------|-----|----|-----|-----|
| 大学 | 85 | 30 | 109 | 224 |
| 短期大学 | 4 | 16 | 24 | 44 |
| 高等専門学校 | 33 | 3 | 0 | 36 |
| 大学共同利用機関 | 12 | - | - | 12 |
| 合計 | 134 | 49 | 133 | 316 |



2. 大学教員の任期に関する規則整備への対応

関連情報として、「大学の教員等の任期に関する法律」（平成9年法律第82号）の施行に伴い、任期制を運用する各大学等が定める規則を収集し、「研究者公募情報サービス」で公開しています。平成10年5月19日現在、14機関の規則を掲載しています。

「研究者公募情報サービス」ホームページのURL <http://nacwww.nacsis.ac.jp/>

お問い合わせ先 データベース課研究者情報係（TEL: 03-3942-8588,

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

「ネットワーク運用係」連絡先の変更

学術情報ネットワークの運用を担当しております事業部ネットワーク課ネットワーク運用係は、平成10年4月1日より、千葉分館（千葉市）から別館（文京区大塚）へ事務室を移転しました。

今後は、ネットワークの運用に関する連絡先を次のとおり変更させていただきますのでよろしくお願い致します。

| | 新 | 旧 |
|-------|----------------|--------------|
| 郵便番号 | 112-8640 | 263-0022 |
| 住 所 | 東京都文京区大塚3-29-1 | 千葉市稲毛区弥生1-8 |
| 電話番号 | 03-3942-7981 | 043-285-4924 |
| | 03-3942-7982 | 043-285-4925 |
| FAX番号 | 03-3942-9398 | 043-290-1380 |

（ネットワーク課）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

接続ニュース

前号以降，新たに目録所在情報サービスの参加機関となった図書館は，以下のとおりです。

(平成10年4月21日現在)

| No. | 機 関 名 | 接続日 | No. | 機 関 名 | 接続日 |
|-----|------------|----------|-----|--------------|----------|
| 590 | 富山県立大学 | 10. 1.30 | 595 | 東京都立医療技術短期大学 | 10. 3. 4 |
| 591 | 奈良工業高等専門学校 | 10. 2. 5 | 596 | 大阪青山短期大学 | 10. 3.21 |
| 592 | 聖心女子大学 | 10. 2.25 | 597 | 高知女子大学 | 10. 3.30 |
| 593 | 日本文理大学 | 10. 2.25 | 598 | 九州大谷短期大学 | 10. 4.18 |
| 594 | 文化女子大学 | 10. 2.25 | 599 | 昭和薬科大学 | 10. 4.21 |

この結果，参加機関数は，国立大学98，公立大学41，私立大学284，大学共同利用機関12，短期大学57，高等専門学校28，その他79，合計599機関となりました。

(共同利用第一係)

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

「学術雑誌目次速報データベース」の進捗状況

前々号以降、「学術雑誌目次速報データベース」に対するデータ提供の申込みが17機関からあり、平成10年4月23日現在データ提供機関の参加状況は以下のとおりです。

| | 機関数 | 組織数 | 雑誌数 |
|--------|-----|-----|-------|
| 国立大学 | 81 | 184 | 1,072 |
| 公立大学 | 14 | 17 | 70 |
| 私立大学 | 124 | 132 | 731 |
| 短期大学 | 34 | 34 | 74 |
| 高等専門学校 | 23 | 23 | 27 |
| その他 | 17 | 17 | 298 |
| 合 計 | 293 | 407 | 2,272 |

最新の参加機関，収録対象雑誌の一覧はGopher，WWWでも見るすることができます。

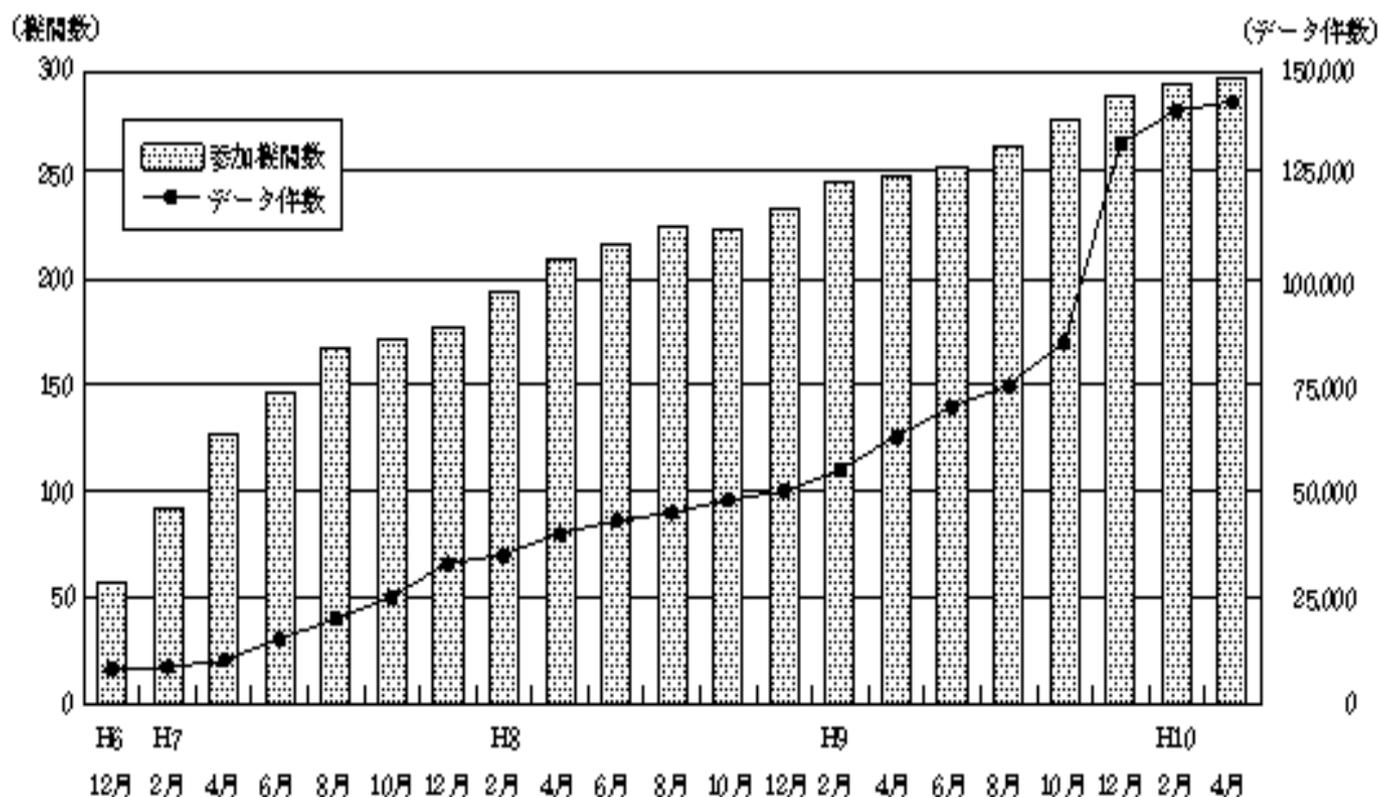
URLは以下のとおりです。

Gopher <gopher://gopher.nacsis.ac.jp/11/ir/sokuho>

WWW <http://www.nacsis.ac.jp/sokuho/>

WWWのURLは変更になりました。ご注意ください。

データベースの収録件数は143,000件になりました。サービス開始当初からのデータ件数と参加機関の推移は以下のとおりです。



また、前々号でお知らせしました学会誌刊行センターが発行する「Current Contents of Academic Journals in Japan」誌の1986-1987年（Vol.15）から1996年（Vol.23）までのデータ約40,000件を去年の11月に追加しました。今後も同誌の最新データを定期的に収録していく予定です。

なお、このデータベースに関するお問い合わせは、データベース課文献データベース係（TEL.03-3942-6975～6，FAX.03-3942-9398）までお願いします。

（データベース課）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

NACSIS-ILL 利用状況（平成9年度）

平成10年3月31日現在

1. 利用機関

| 区 分 | 国立大学 | 公立大学 | 私立大学 | その他 | 計 |
|-------|------|------|------|-----|-----|
| 機 関 数 | 98 | 30 | 175 | 97 | 400 |
| 参加組織数 | 243 | 38 | 212 | 101 | 594 |

2. 月別レコード件数

| 年 月 | 複 写 | 貸 借 | 計 |
|----------|---------|--------|---------|
| 1997年 4月 | 50,275 | 2,176 | 52,451 |
| 5月 | 65,066 | 3,242 | 68,308 |
| 6月 | 67,692 | 3,843 | 71,535 |
| 7月 | 69,142 | 4,327 | 73,469 |
| 8月 | 55,946 | 3,339 | 59,285 |
| 9月 | 66,237 | 3,485 | 69,722 |
| 10月 | 79,149 | 4,461 | 52,454 |
| 11月 | 64,925 | 4,903 | 69,828 |
| 12月 | 69,376 | 5,237 | 74,613 |
| 1998年 1月 | 60,654 | 3,859 | 64,513 |
| 2月 | 58,772 | 3,703 | 62,475 |
| 3月 | 61,384 | 3,746 | 35,130 |
| 合 計 | 768,618 | 46,321 | 814,939 |

3. 図書館種別の流動

上段：複写件数，中段：貸借件数，下段：合計

| 受付館 依頼館 | 国立大学 | 公立大学 | 私立大学 | その他 | 合 計 |
|------------|---------|-------|--------|--------|---------|
| 国立大学 | 534,914 | 1,705 | 16,251 | 18,159 | 571,029 |
| | 25,043 | 833 | 3,740 | 1,776 | 31,392 |
| | 559,957 | 2,538 | 19,991 | 19,935 | 602,421 |
| 公立大学 | 23,900 | 2,477 | 10,944 | 1,977 | 39,298 |
| | 928 | 249 | 819 | 178 | 2,174 |
| | 24,828 | 2,726 | 11,763 | 2,155 | 41,472 |
| | 35,157 | 3,867 | 72,103 | 5,112 | 116,239 |

| | | | | | |
|-------|---------|--------|---------|--------|---------|
| 私立大学 | 3,138 | 676 | 5,302 | 781 | 9,897 |
| | 38,295 | 4,543 | 77,405 | 5,893 | 126,136 |
| そ の 他 | 25,112 | 2,135 | 12,861 | 1,944 | 42,052 |
| | 1,609 | 155 | 790 | 304 | 2,858 |
| | 26,721 | 2,290 | 13,651 | 2,248 | 44,910 |
| 合 計 | 619,083 | 10,184 | 112,159 | 27,192 | 768,618 |
| | 30,718 | 1,913 | 10,651 | 3,039 | 46,321 |
| | 649,801 | 12,097 | 122,810 | 30,231 | 814,939 |

(目録情報課)

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

電子メールシステム利用状況（平成9年度）

| 年 月 | 電子メール | | | 電子掲示板 | ネット ニュース |
|---------|--------------|-----------|--------|--------|-------------|
| | 国内・国際 メール | 国際電子メールのみ | | | |
| | 合計利用件 数 | 送信件数 | 受信件数 | 利用回数 | 利用回数 |
| 平成9年4月 | 38,022 | 948 | 4,188 | 1,352 | 89 |
| 5月 | 40,214 | 952 | 4,241 | 1,465 | 159 |
| 6月 | 37,728 | 1,001 | 3,892 | 1,266 | 156 |
| 7月 | 37,711 | 918 | 3,636 | 2,041 | 137 |
| 8月 | 28,289 | 662 | 2,753 | 1,397 | 154 |
| 9月 | 32,653 | 752 | 2,874 | 1,541 | 119 |
| 10月 | 36,978 | 840 | 3,501 | 1,416 | 145 |
| 11月 | 32,360 | 759 | 3,378 | 983 | 144 |
| 12月 | 30,398 | 837 | 2,950 | 946 | 142 |
| 平成10年1月 | 30,629 | 814 | 3,265 | 1,068 | 137 |
| 2月 | 30,669 | 1,038 | 4,510 | 1,190 | 156 |
| 3月 | 31,358 | 678 | 2,904 | 1,298 | 148 |
| 合 計 | 407,009 | 10,199 | 42,092 | 15,963 | 1,686 |

（システム業務係）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

メインシステム稼働状況（平成9年度）

| 項目 年月 | 情報検索サービス | | 目録所在情報サービス | | システム運用管理業務用 | | TSS合計 | | |
|----------|----------|--------|------------|--------|-------------|-------|---------|---------|-----------|
| | 利用者数 | 利用回数 | 利用者数 | 利用回数 | 利用者数 | 利用回数 | 利用者数 | 利用回数 | |
| 平成9年度 | H9.4 | 2,246 | 17,288 | 5,565 | 178,695 | 355 | 9,972 | 8,166 | 205,955 |
| | 5 | 2,272 | 19,353 | 5,652 | 202,310 | 450 | 13,101 | 8,374 | 234,764 |
| | 6 | 2,175 | 18,303 | 5,691 | 211,206 | 523 | 13,554 | 8,389 | 243,063 |
| | 7 | 2,018 | 16,594 | 5,706 | 211,801 | 581 | 13,778 | 8,305 | 242,173 |
| | 8 | 1,678 | 10,911 | 5,462 | 140,116 | 457 | 12,426 | 7,597 | 163,453 |
| | 9 | 1,839 | 14,040 | 6,006 | 181,208 | 473 | 12,133 | 8,318 | 207,381 |
| | 10 | 2,039 | 17,122 | 6,113 | 229,416 | 658 | 13,022 | 8,810 | 259,560 |
| | 11 | 1,771 | 13,199 | 5,935 | 185,082 | 1,678 | 17,445 | 9,384 | 215,726 |
| | 12 | 1,758 | 12,219 | 5,987 | 186,021 | 476 | 11,781 | 8,221 | 210,021 |
| | H10.1 | 1,713 | 11,450 | 5,968 | 189,618 | 376 | 10,768 | 8,057 | 211,836 |
| | 2 | 3,138 | 15,787 | 6,022 | 198,855 | 368 | 10,571 | 9,528 | 225,213 |
| | 3 | 3,025 | 13,093 | 6,200 | 214,733 | 382 | 12,144 | 9,607 | 239,970 |
| | 合計 | 25,672 | 179,359 | 70,307 | 2,329,061 | 6,777 | 150,695 | 102,756 | 2,659,115 |

（システム業務係）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

NACSIS-IRデータベース収納状況

平成10年5月22日現在

| No. | データベース名称 | 収納件数 | 収録期間 |
|-----|----------------------|-----------|-----------|
| 1 | 科学研究費補助金研究成果概要データベース | 247,042 | 1985年～ |
| 2 | 学位論文索引データベース | 168,039 | 1951年3月～ |
| 3 | 学会発表データベース(全分野) | 355,941 | 1987年3月～ |
| 4 | 学術論文データベース第一系(全文) | 6,124 | 1989年4月～ |
| | (電子関連) (抄録) | 9,010 | |
| 5 | 学術論文データベース第二系(化学関連) | 23,404 | 1983年1月～ |
| 6 | 学術論文データベース第五系(理学関連) | 10,307 | 1990年1月～ |
| 7 | 民間助成研究成果概要データベース | 7,712 | 1964年～ |
| 8 | 経済学文献索引データベース | 167,162 | 1983年1月～ |
| 9 | 学会予稿集電子ファイル | 218,980 | 1927年11月～ |
| 10 | 臨床症例データベース | 9,799 | 1981年1月～ |
| 11 | 学術雑誌目次速報データベース | 153,960 | 1938年1月～ |
| 12 | 科学研究費補助金採択課題データベース | 62,493 | |
| 13 | 雑誌記事索引データベース | 1,794,466 | 1984年1月～ |
| 14 | 民間助成決定課題データベース | 14,203 | 1994年4月～ |
| 15 | 現行法令データベース | 3,916 | |
| 16 | 維新史料綱要データベース | 28,667 | 弘化3年2月～ |
| 17 | 古文書目録データベース | 24,609 | |
| 18 | 木簡データベース | 15,925 | |
| 19 | 研究者ディレクトリ | 139,430 | |
| 20 | データベース・ディレクトリ | 2,197 | |
| 21 | 家政学文献索引データベース | 126,123 | 1945年～ |
| 22 | RAMBIOS | 10,309 | 1983年4月～ |
| 23 | 化学センサーデータベース | 20,052 | 1975年1月～ |
| 24 | 日本独文学会文献情報データベース | 27,872 | 1947年～ |
| 25 | スラブ地域研究文献データベース | 9,497 | 1988年～ |

| | | | |
|----|--|-------------------------|-----------|
| 26 | 電気化学データベース | 81,846 | |
| 27 | 文化財科学文献デ - タベ - ス | 17,413 | 1879年 ~ |
| 28 | 化学と教育誌データベース | 3,537 | 1972年 ~ |
| 29 | 現代邦楽作品デ - タベ - ス | 1,665 | 1963年 ~ |
| 30 | 日本建築学会文献索引データベース | 71,781 | 1976年 ~ |
| 31 | 北海道大学北方資料総合目録データベース | 43,800 | |
| 32 | 中東・イスラーム研究文献索引データベース | 15,816 | 1868年 ~ |
| 33 | 中央アジア研究文献索引データベース | 15,857 | 1879年 ~ |
| 34 | アジア歴史研究者ディレクトリ | 1,799 | |
| 35 | 印度学・仏教学研究ディレクトリ | 759 | |
| 36 | ロシア外交史料館日本関連文書目録データベース | 5,466 | 1850年 ~ |
| 37 | 教科教育実践学関連資料（国語科）データベース | 18,000 | |
| 38 | Life Sciences Collection PLUS Marine Biology and Bio Engineering | 1,896,277 | 1982年1月 ~ |
| 39 | MathSci | 1,893,801 | 1940年1月 ~ |
| 40 | COMPENDEX PLUS | 3,737,482 | 1976年1月 ~ |
| 41 | Harvard Business Review | 2,956 | 1927年1月 ~ |
| 42 | ISTP & B | 3,272,198 | 1982年1月 ~ |
| 43 | EMBASE | 4,562,924 | 1984年4月 ~ |
| 44 | SciSearch | 11,674,176 | 1983年1月 ~ |
| 45 | Social SciSearch | 1,993,843 | 1983年1月 ~ |
| 46 | A & H Search | 1,779,921 | 1983年1月 ~ |
| 47 | 目録所在情報データベース（書誌） （図書）（所蔵） | 3,652,313 31,323,961 | 1986年4月 ~ |
| 48 | 目録所在情報データベース（書誌） （雑誌）（所蔵） | 212,948 3,125,468 | |
| 49 | 科学技術関係欧文会議録データベース | 53,377 | 1985年1月 ~ |
| 50 | JPMARC | 1,955,652 | 1868年1月 ~ |
| 51 | LCMARC (Books) | 4,432,446 | 1968年1月 ~ |
| 52 | LCMARC (Serials) | 782,003 | 1973年1月 ~ |
| 53 | 大型コレクションディレクトリ | 538 | 1978年4月 ~ |

| | | | |
|----|----------------------|---------|----------|
| 54 | 日本の医学会会議録データベース | 29,138 | 1990年～ |
| 55 | 国会図書館洋図書目録データベース | 172,809 | 1986年9月～ |
| 56 | 学術関係会議等開催情報（日本学術会議編） | 21,099 | 1991年4月～ |
| 57 | 学協会集会スケジュール（日本工学会編） | 9,499 | 1992年7月～ |

（システム業務係）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

NACISIS-CATデータベース構築状況

平成10年5月22日現在

| データベース名称 | | 収納件数 | 備考（収録期間等） | |
|------------|----------|----------|------------|------------------|
| 総合目録データベース | 図書 | 書誌 | 3,693,501 | |
| | | 書誌（遡及） | 716,906 | |
| | | 所蔵 | 32,787,714 | |
| | 雑誌 | 書誌 | 216,283 | |
| | | 所蔵 | 3,204,607 | |
| | 著者名典拠 | | 1,001,163 | |
| | 統一書名典拠 | | 14,421 | |
| | 和雑誌変遷マップ | | 8,609 | |
| | 洋雑誌変遷マップ | | 15,283 | |
| 参照ファイル | LC/MARC | 洋図書書誌 | 5,551,076 | 1968年1月～1998年4月 |
| | | 洋雑誌書誌 | 782,003 | 1973年1月～1998年3月 |
| | | 非文字書誌 | 268,147 | 1973年1月～1993年12月 |
| | | 洋書著者名典拠 | 3,222,374 | 1977年1月～1998年4月 |
| | | 洋書統一書名典拠 | 251,287 | 1977年1月～1998年4月 |
| | JP/MARC | 和図書書誌 | 1,980,916 | 1948年1月～1998年4月 |
| | | 和雑誌書誌 | 100,582 | 1968年8月～1996年1月 |
| | | 和書著者名典拠 | 325,315 | |
| | UK/MARC | 洋図書書誌 | 1,709,588 | 1950年1月～1998年4月 |
| | TRC/MARC | 和図書書誌 | 653,170 | 1985年4月～1998年5月 |
| | GPO/MARC | 洋図書書誌 | 419,039 | 1976年1月～1997年12月 |

（システム業務係）

平成9年度NACSIS-IR利用状況（上位10種）

下表は、平成9年度一年間のNACSIS-IR利用状況について、接続回数、接続時間、出力件数の多い順に上位10種のデータベースをリストアップしたものです。すべてについて目録所在情報系データベースが上位を占めていますが、導入データベースでは雑誌記事索引やSciSearchなど、本センターが作成しているデータベースでは研究者ディレクトリや学会発表データベース、研究者などからの受入データベースでは家政学文献索引データベースなどが利用の多いデータベースとなっています。

| 順位 | 接続回数順 (回数) | 接続時間順 (分数) | 出力件数順 (件数) |
|----|-------------------|---------------|---------------------|
| 1 | 目録所在情報 (図書) | 67,842 | 目録所在情報 (図書) |
| 2 | 目録所在情報 (雑誌) | 40,816 | 目録所在情報 (雑誌) |
| 3 | 雑誌記事索引 | 19,327 | 雑誌記事索引 |
| 4 | 研究者ディレク トリ | 12,080 | 研究者ディレク トリ |
| 5 | Sci Search | 9,493 | Sci Search |
| 6 | JP/MARC | 8,012 | JP/MARC |
| 7 | LC/MARC (book) | 4,547 | LC/MARC (book) |
| 8 | 学会発表 | 3,650 | LC/MARC (serial) |
| 9 | Social Sci Search | 3,228 | 学会発表 |
| 10 | COMPENDEX PLUS | 3,100 | 家政学文献索引 |

(データベース課)

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

研修情報の入手先

学術情報センターで主催している各研修・講習会に関する詳細は、教育研修事業要綱の他、ホームページおよびFAXサービスでご案内しています。研修課のホームページでは、研修・講習会に関する情報や推薦書の記入例などの他、秋に開催予定の学術情報センターシンポジウムなど、学術情報センターの教育研修事業に関するご案内も随時掲載しています。また、研修・講習会の受講申し込みに必要な推薦書は、教育研修事業要綱（p.21～p.42）をご利用頂くか、ホームページおよびFAXサービスでお取り寄せください。

URL <http://www.nacsis.ac.jp/hrd/welcome.html>

FAXサービス 03-3942-7865（BOX番号 500：研修・講習会の総合目次）

（研修課）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

「平成10年度教育研修事業要綱」の発行

学術情報センターで主催している各研修・講習会に関する情報を掲載した「平成10年度教育研修事業要綱」を、平成10年4月上旬に全国の国公私立大学・短期大学・高等専門学校、大学共同利用機関、文部省および文化庁の施設等機関、およびその他の関連機関に発送しました。

1. 昨年度の開催コースとは、以下の変更があります。

(1) 新目録所在情報サービス対応講習会（試行）

平成9年度から「新目録所在情報サービス」を開始したことに伴い、このサービスを対象とした内容の講習会を平成11年度から実施する予定です。本年度は、このサービスに対応したシステムを導入した京都大学附属図書館との共催により、試行的に講習会を開催します。（教育研修事業要綱p.16参照）

なお、新目録所在情報サービス対応のILLシステム講習会は以下の日程に決まりました。

| 共催機関（会場） | 開催期間 | 締切日 | 定員 |
|----------|---------------------|------------|-----|
| 京都大学 | 10.9.3（木）～10.9.4（金） | 10.7.17（金） | 10名 |

(2) 電子メールシステム講習会（休止）

平成10年度は、新しい電子メールサービスへの移行時期にあるため、従来の講習会の開催を休止します。

2. 「学術情報センター・セミナー」および「総合目録データベース実務研修」の参加申込みの締切日は、7月17日（金）です。参加を希望される場合は、締切日までに推薦書を研修課企画係までお送りください。

研修およびセミナーに関する詳細は、教育研修事業要綱、ホームページおよびFAXサービスでもご案内しています。詳しくは、本号の「研修情報の入手先」をご覧ください。

（研修課）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

目録システム地域講習会（島根大学共催）の開催

平成10年度目録システム地域講習会（図書コース）の開催日程に，以下が追加されました。

なお，本講習会に関しては，「平成10年度教育研修事業要綱」への掲載が間に合わなかったため，近隣地域（鳥取県，島根県，山口県）の関連各機関には，別途文書にて案内を発送しました。

【図書コース】

| 共催機関（会場） | 開催期間 | 締切日 | 定員 |
|----------|---------------------|------------|----------|
| 島根大学 | 10.7.1（水）～10.7.3（金） | 10.5.15（金） | 20名（10名） |

定員欄の（ ）内数字は共催機関外からの受入定員です。

（研修課）

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

日本研究上級司書研修への協力

学術情報センターは、平成10年1月21日（水）、22日（木）の2日間、12カ国から1名ずつ、計12名の図書館員を迎えて研修を実施しました。これは、国際交流基金および国立国会図書館の共催により、平成10年1月19日（月）～2月6日（金）に実施された、「日本研究上級司書研修」に協力して行ったものです。

この研修は、海外の大学等研究機関の図書館で日本研究をサポートする司書を対象として、日本関係の資料や日本での新しい情報技術についてより一層の知識の向上などを目的としたものです。

学術情報センターを会場とした2日間の研修は、学術情報センターが提供する目録所在情報サービス（NACSIS-CAT、NACSIS-ILL）、情報検索サービス（NACSIS-IR）、電子図書館サービス（NACSIS-ELS）の概要説明と操作実習、海外からの学術情報センターサービスの利用方法に関する説明などを中心に行いました。

研修生からは、2日間を通して熱心な質問が寄せられ、海外からの日本情報の入手に対する需要の高さをうかがうことができました。



所長の挨拶



研修風景



研修生との意見交換

(研修課)

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

海外における日本情報の需要と供給に関する研究

Ms Jane ThackerおよびMr. Ron Jantz招へい

平成7年より3年計画で実施している科学研究費国際共同研究「海外における日本情報の需要と供給に関する研究」（研究代表者 井上 如副所長）では、平成10年3月9日より19日にかけてMsJane Thacker（ジェーン・サッカーさん：カナダ国立図書館上級標準化図書館員）およびMr.Ron Jantz（ロン・ジャンツ氏：ラトガス大学アレクサンダー図書館政府・社会科学データ図書館員）を招へいして、カナダ国立図書館の電子文献、ラトガス大学における新図書館構想への取り組みについて情報交換し、その上で、日本情報の国際流通に関わる諸問題について検討した。

サッカーさんはカナダ国立図書館における電子コレクションの開発を担当し、カナダ・デジタル・ライブラリ委員会の企画委員会に参画している。カナダ国立図書館の収集整理サービスにおけるウェブ事業の管理運営担当者である。国際標準化機構（ISO）第46技術委員会第9小委員会の事務局長でもある。

ジャンツ氏はアレクサンダー図書館において、紙と電子形態の両方のデータを提供する業務に携わっており、また、利用者がデータを利用し処理するためのラボラトリと専門的なツールを備えた社会科学データセンターの設立を担当している。

3月10日にはセンターにおいて、学術情報システム構想、NACSIS-CAT、NACSIS-ELS、全文データベースなど学術情報センター・サービスの最新状況について紹介した。

3月11日には軽井沢の国際高等セミナーハウスで開催されたInternational Seminar on Enforcement of Electronic Library Function in University Librariesにおいて講演した。

3月12日には国際基督教大学図書館視察に引き続き、主に同館職員および私立大学図書館員約20名を対象に講演した。

3月13日午前には国立国会図書館を見学し、午後には学術情報センターにおいて当科学研究費活動として一般公開の報告会を開催し、約40名の出席者を得た。講演者・演題は次のとおりである。

Mr. Ronald C. Jantz

“ Digital Libraries: Special Projects in the Scholarly Communication Center - Social Sciences Data Center and the Changing Role of Librarians ”

Ms Jane Thacker

“ The National Library of Canada and electronic documents: some Canadian issues and initiatives ”

3月16日には京都大学附属図書館講堂において平成9年度近畿地区国公立図書館協議会の一環として開催された講演会において講演し、約50名の聴衆を得た。東京・京都で講演した論文については英文・和文が聴衆に提供されている。講演記録は1998年3月刊行の当科学研究費プロジェクトの最終報告に収録され、大学図書館に配布される。

今回の招へいにおいては、国立国会図書館、国際基督教大学図書館、京都大学図書

館の強力な支援を得たことを記して感謝申し上げます。

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

海外からの来訪者一覧

[平成10年2月3日～4月10日]

| 来訪日 | 氏名 | 所属 |
|------------|--------------------------|---|
| 2 . 3 | Prof. Chen Nai-Fang | 北京外国語大学長 |
| | Prof. Xu Yi-Ping | 北京日本学研究中心副主任 |
| 2 . 3 | Mr. Richard Gartner | オックスフォード大学ボードリアン図書館 ピアソン・ニューメディア図書館長 |
| 2 . 12 | 朱慶華 | 図書館情報大学中国政府派遣研究員 |
| 2 . 23 | Ms. Luisa Calanag | 図書館情報大学研究生 |
| | Ms. Xue Dong-ge | 図書館情報大学訪問研究員 |
| | Ms. Keiko MURAKAMI | 図書館情報大学外国人受託研究員 |
| | Ms. Huang ya Ling | 図書館情報大学研究生 |
| 3 . 2 | Ms. Lin Hui-Chen | 台湾行政院国家科学委員会科学技術資料中心 |
| | Ms. Pan Sue-Chyi | // |
| 3 . 3 | Dr. Eric J. Miller | オンラインコンピュータ図書館センター |
| | Dr. Thomas Baker | アジア工科大学 |
| 3 . 9 | Dr. Peter R. Day | ラトガース大学農業・環境バイオテクノロジー センター長 |
| 3 . 10, 13 | Mr. Ronald C. Jantz | 米国ニュージャージー州立ラトガース大学アレク サンダー図書館政府・社会科学データ図書館 員 |
| | Ms. Jane Thacker | カナダ国立図書館図書館標準化部上級標準化 図書館員 / 国際標準化機構46技術委員会 第9小委員会事務局長 |
| 3 . 12 | Mr. Cao Dafeng | 山東大学外国文化研究所長 / 北京日本学研究中心 センター客員教授 |
| | Mr. Qiao Xiaodong | 中国科学院信息所信息中心主任 |
| | Prof. Xu Yi-Ping | 北京日本学研究中心副主任 |
| 3 . 24 | WTEC電子情報研究所調査団 | |
| 4 . 7 | Mr. Gavrilin Alexander V | クラスノヤルスク州政府総局地方教育開発 センター遠隔教育・マルチメディア情報部長 |
| 4 . 10 | 若林 操子 | ハイデルベルク大学日本学研究室 |

(国際交流係)

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

人事異動

| 発令年月日 | 氏名 | 新官職名等 | 旧官職名 |
|---------|-------|-----------------------------|------------------------------|
| 〔停年退職〕 | | | |
| 10.3.31 | 伊藤 春雄 | | 研究開発部学術情報研究系 情報利用学研究部門助教授 |
| 〔辞職〕 | | | |
| 10.3.31 | 越塚 美加 | (学習院女子大学助教授) | 研究開発部学術情報研究系 情報管理学研究部門助手 |
| (採用) | | | |
| 10.4.1 | 竹内 孔一 | 研究開発部学術情報研究系 情報管理学研究部門助手 | |
| (転入) | | | |
| 10.4.1 | 花房 茂俊 | 管理部総務課長 | メディア教育開発センター 事業部研究協力課長 |
| | 渡辺 博 | 事業部システム管理課長 | 九州大学附属図書館情報シ ステム課長 |
| | 布施 勇 | 事業部データベース課長 | 東京学芸大学附属図書館情 報管理課長 |
| | 岡本 幸次 | 管理部総務課専門職員 | 文部省学術国際局国際企画 課ユネスコ第一係長 |
| | 星野 佳也 | 管理部総務課庶務係長 | 東京大学研究協力部留学生 課留学生第二掛長 |
| | 植木 祐輔 | 管理部総務課人事係長 | 大学入試センター管理部庶 務課人事係長 |
| | 竹内 隆志 | 管理部総務課研究協力係長 | 東京大学生産技術研究所総 務課情報普及掛長 |
| | 千葉 栄夫 | 管理部会計課用度係長 | 国立歴史民俗博物館管理部 会計課経理係長 |
| | 永井 善一 | 管理部共同利用課共同利用 第二係長 | 国立国会図書館総務部情報 システム課庶務係長 |
| | 衛藤 直樹 | 教育研修部研修課企画係企 画主任 | 宇宙科学研究所管理部国際 調整課国際企画調整係主任 |
| | 石塚 泰史 | 管理部会計課用度係 | 東京大学大型計算機セン ター |
| | 石井 保志 | 管理部共同利用課共同利用 第一係 | 東京医科歯科大学附属図書 館 |
| | 土井 光広 | 事業部システム管理課シス テム業務係 | 大阪大学大型計算機セン ター |

| | | |
|-------|----------------------------|--------------------------|
| 藤井 眞樹 | 事業部データベース課調査係 | 奈良女子大学附属図書館 |
| 中村 英治 | 事業部目録情報課図書目録情報係 | 国立国会図書館調査員 |
| 枝川 明敬 | 研究開発部研究動向調査研究系人文・社会系研究部門助教 | 政策研究大学院大学助教授 大学院政策研究科 |

(所内異動)

| | | | |
|------------|-------|----------------------------|----------------------------|
| 10 . 4 . 1 | 羽田 和久 | 管理部共同利用課課長補佐 | 事業部データベース課調査係長 |
| | 若宮 広和 | 管理部総務課国際交流係長 | 管理部総務課庶務係長 |
| | 山西 秀幸 | 管理部共同利用課共同利用第一係長 | 管理部共同利用課共同利用第二係長 |
| | 樋口 秀樹 | 事業部システム管理課システム業務係長 | 事業部システム管理課システム業務係 |
| | 石原 栄一 | 事業部データベース課数値画像データベース係長 | 事業部システム管理課システム業務係長 |
| | 小陳左和子 | 事業部データベース課研究者情報係長 | 事業部データベース課研究者情報係 |
| | 櫻井美智雄 | 事業部データベース課調査係長 | 管理部共同利用課共同利用第一係長 |
| | 鵜澤 和往 | 事業部目録情報課雑誌目録情報係長 | 事業部目録情報課雑誌目録情報係 |
| | 田原 裕治 | 管理部会計課総務係 | 管理部会計課用度係 |
| | 佐久間邦彦 | 事業部ネットワーク課ネットワーク管理係 | 事業部ネットワーク課ネットワーク運用係 |
| | 計良 広幸 | 事業部ネットワーク課ネットワーク運用係 | 事業部ネットワーク課ネットワーク管理係 |
| | 平野 裕志 | 事業部データベース課データベース管理係 | 事業部データベース課調査係 |
| | 橋爪 宏達 | 研究開発部学術情報研究系情報利用学研究部門教授 | 研究開発部システム研究系ソフトウェア工学研究部門助教 |
| | 神門 典子 | 研究開発部学術情報研究系助教 | 研究開発部学術情報研究系情報図書館学研究部門助手 |
| | 佐藤 真一 | 研究開発部システム研究系ソフトウェア工学研究部門助教 | 研究開発部システム研究系ソフトウェア工学研究部門助手 |
| | 趙 偉平 | 研究開発部システム研究系助教 | 研究開発部システム研究系超高速通信方式研究部門助手 |

| | | | |
|--------|-------|---|-------------------------------------|
| | 阿部 俊二 | 研究開発部システム研究系 助教授 | 研究開発部システム研究系 超高速画像情報処理研究部 門助手 |
| | 孫 媛 | 研究開発部研究動向調査研 究系生物系研究部門助教授 | 研究開発部学術情報研究系 データベース研究部門助手 |
| | 西澤 正己 | 研究開発部学術情報研究系 データベース研究部門助手 | 研究開発部研究動向調査研 究系理工系研究部門助手 |
| 10.4.9 | 岡本 幸次 | 管理部総務課企画調査係長 | 管理部総務課専門職員 |
| | 安達 淳 | 情報研究の中核的研究機関 準備調査室教授 | 研究開発部システム研究系 システム工学研究部門教授 |
| | 神門 典子 | 研究開発部学術情報研究系 情報図書館学研究部門助教 授 | 研究開発部学術情報研究系 助教授 |
| | 影浦 峡 | 研究開発部学術情報研究系 記号科学研究部門助教授 | 研究開発部学術情報研究系 情報図書館学研究部門助教 授 |
| | 趙 偉平 | 研究開発部システム研究系 統合メディア処理システム 研究部門助教授 | 研究開発部システム研究系 助教授 |
| | 阿部 俊二 | 研究開発部開発研究系開発 統括研究部門助教授 | 研究開発部システム研究系 助教授 |

〔職務命令〕

| | | |
|--------|-------|------------------------------------|
| 10.4.1 | 安達 淳 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室長命（10.4.8まで） |
| | 岡本 幸次 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室企画主任命（10.4.8まで） |
| | 若宮 広和 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室調査主任命（10.4.8まで） |
| | 竹内 隆志 | 管理部総務課国際交流系の職務担当命 |
| | 武川利代巳 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命（10.4.8まで） |
| | 豊田 正美 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命（10.4.8まで） |
| | 蓑毛堅一郎 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命（10.4.8まで） |
| | 影浦 峡 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命（10.4.8まで） |
| | 大山 敬三 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命（10.4.8まで） |
| | 佐藤 真一 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命（10.4.8まで） |

| | |
|-----------------|--|
| 相澤 彰子 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命 (10.4.8まで) |
| 柿沼 澄男 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命 (10.4.8まで) |
| 野末俊比古 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命 (10.4.8まで) |
| 後藤田洋伸 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命 (10.4.8まで) |
| 片山 紀生 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命 (10.4.8まで) |
| 杉本 雅則 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命 (10.4.8まで) |
| 藤野 貴之 | 情報研究の中核的研究機関準備調査推進室勤務命 (10.4.8まで) |
| 嶋 邦宏 | 事業部データベース課数値画像データベース係数値画像データベース主任免 |
| 小陳左和子 | 事業部データベース課研究者情報係研究者情報主任免 |
| 鷓澤 和往 | 事業部目録情報課雑誌目録情報係雑誌目録情報主任免 |
| 松原 康夫 | 千葉分館免 |
| 石原 栄一 | 千葉分館免 |
| 中尾 実 | 千葉分館免 |
| 佐久間邦彦 | 千葉分館免 |
| 10 . 4 . 9 安達 淳 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室長命 研究開発部システム研究系勤務命 |
| 岡本 幸次 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室企画主任命 |
| 若宮 広和 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室調査主任命 |
| 武川利代巳 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 |
| 豊田 正美 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 |
| 蓑毛堅一郎 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 |
| 影浦 峡 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 |
| 大山 敬三 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 |
| 佐藤 真一 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 |
| 相澤 彰子 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 |
| 柿沼 澄男 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 |
| 野末俊比古 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 |
| 後藤田洋伸 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 |
| 片山 紀生 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 |

| | | | |
|---------|-----------------------|------------------------------------|---------------------------|
| | 杉本 雅則 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 | |
| | 藤野 貴之 | 情報研究の中核的研究機関準備調査室勤務命 | |
| 10.4.16 | 土井 光広 | 千葉分館勤務命 | |
| | (併 任) | | |
| 10.4.1 | 野末俊比古 | 教育研修部学術情報システム教育室 | |
| 10.4.9 | 羽鳥 光俊 | 研究開発部システム研究系統合メディア処理システム研究 部門教授 | |
| | (本務先：東京大学大学院工学系研究科教授) | | |
| | (併任解除) | | |
| 10.4.1 | 田中 裕子 | 管理部総務課国際交流係長 | |
| | 郷原 正好 | 事業部データベース課数値画像データベース係長 | |
| | 船渡川 清 | 事業部データベース課研究者情報係長 | |
| | 米澤 誠 | 事業部目録情報課雑誌目録情報係長 | |
| | (転 出) | | |
| 10.4.1 | 成瀬 量 | 岡崎国立共同研究機構総務 部庶務課長 | 管理部総務課長 |
| | 早瀬 均 | 東北大学附属図書館情報 サービス課長 | 事業部システム管理課長 |
| | 小西 和信 | 筑波大学図書館部情報シス テム課長 | 事業部データベース課長 |
| | 渡部 利昭 | 東京大学物性研究所経理課 課長補佐 | 管理部共同利用課課長補佐 |
| | 及川 政光 | 東京大学医学部附属病院医 事課専門職員 | 管理部会計課用度係長 |
| | 増田 浩一 | 東京大学総務部人事課福利 掛長 | 管理部総務課人事係長 |
| | 田中 裕子 | 東京大学工学部・工学系研 究科金属工学科事務主任 | 管理部総務課研究協力係長 |
| | 野呂 清隆 | 東京大学経理部主計課 | 管理部会計課総務係 |
| | 早川 英岐 | 東京工業大学工学部 | 管理部共同利用課共同利用 第一係 |
| | 小林 一男 | 大阪大学大型計算機セン ター | 事業部システム管理課シス テム管理係 |
| | 細川 聖二 | 東京医科歯科大学附属図書 館 | 事業部データベース課デー タベース管理係 |
| | 嶋 邦宏 | 国立国会図書館総務部情報 システム課 | 事業部データベース課数値 画像データベース係 |
| | 山岡 規雄 | 国立国会図書館総務部人事 課 | 事業部目録情報課図書目録 情報係 |

| | | |
|-------|------------------|-----------------|
| 平田 義郎 | 横浜国立大学附属図書館情報管理課 | 事業部目録情報課雑誌目録情報係 |
| 渡邊満理子 | 千葉大学医学部附属病院医事課 | 教育研修部研修課企画係 |

(人事係)

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

学術情報センター刊行物一覧

[平成9年4月～平成10年4月]

| 誌名および発行頻度 | 発行日 |
|--|--------------|
| センターの総括的出版物 | |
| 学術情報センター要覧 和文編 | 年一回発刊 |
| 学術情報センター要覧 英文編 | 年一回発刊 |
| 学術情報センター年報 平成9年度 | '98.1.14 |
| 学術情報センターニュース 最新刊43号 | 季刊 '98.3.13 |
| NACSIS newsletter 最新刊No.16 | 年2回発刊 '97.11 |
| 研究報告 | |
| 学術情報センター紀要 第10号 | '98.3.30 |
| 主要国における学術研究体制とファンディング・システムに関する 国際比較研究 | '97.5.30 |
| Serving multicultural populations in the 21st century | '97.8.28 |
| 海外における日本情報の需要と供給に関する研究 平成9年度報告 | '98.3.26 |
| 研究成果流通環境に関する総合的研究 平成8・9年度報告 | '98.3.27 |
| WAINS4 : Proc. of the 4th Int. Workshop on Information Networks and Systems | '98.3.30 |
| 利用の手引き・マニュアルなど | |
| NACSIS-ELS専用クライアント・ソフトウェア3.0利用の手引き | '98.2 |
| 電子メールシステム利用者マニュアル 第4版 | '97.7 |
| 目録情報の基準 第3版「目録システム利用マニュアル」データ ベース編 | '97.12.11 |
| 「目録システム利用マニュアル」検索編 第4版 | '98.3.30 |
| 「目録システム利用マニュアル」登録編 第4版 | '98.3.30 |
| 「目録システムコーディングマニュアル」 | '98.3.01 |
| 講習会テキストなど | |
| 目録システム講習会 テキスト 図書編 | '98.4 |
| 検索課題集 図書編 | '98.4 |
| 登録課題集 図書編 | '98.4 |
| 目録システム講習会 テキスト 雑誌編 | '98.4 |
| 検索課題編 雑誌編 | '98.4 |

| | |
|--|--------|
| 登録課題集 雑誌編 | '98.4 |
| ILLシステム講習会 テキスト | '98.4 |
| NACSIS-IR講習会 テキスト (第6版) | '98.4 |
| 検索課題集 (第6版) | '98.4 |
| データベースシート集 | '98.4 |
| 平成10年度 教育研修事業要綱 | '98.4 |
| オンライン・システムニュースレター 最新刊No.62 | '98.3 |
| 報告書など | |
| The Third Party Review Committee report : 外部評価委員会報告書 (平成9年10月) | '98.2 |
| 学術情報センターシンポジウム (平成9年度) | '97.11 |
| 学術情報データベース実態調査報告書 (平成9年度) | '98.3 |
| 学術情報センター・セミナー研究レポート (平成9年度) | '98.3 |
| ビデオテープ | |
| NACSIS-CAT概論 [雑誌] | '98.1 |
| NACSIS-CAT目録情報の基準 [図書] | '98.1 |
| NACSIS-CAT目録情報の基準 [雑誌] | '98.1 |
| NACSIS-ILL概論 | '98.1 |
| NACSIS-ILL基本操作・応用操作 | '98.1 |
| Introduction to NACSIS-IR (English) | '98.1 |

(情報・資料係)

[目次へ戻る](#)

[次へ](#)

委員会報告（平成9年度）

データベース委員会

平成9年度データベース委員会が、平成10年2月25日（水）に開催され、次のような報告・審議を行った。

報告事項

- 1．情報検索サービスについて
- 2．データベースの作成および拡充について
- 3．大学等の研究者等提供データベースの受入状況について
- 4．NACSIS-IR講習会実施について

審議事項

- 1．学術情報センターデータベース事業について
- 2．平成10年度情報検索サービス計画について
- 3．新情報検索システムデータベース移行およびサービス移行について

（データベース課）

学術情報センターネットワーク委員会

平成9年度学術情報センターネットワーク委員会が平成10年2月27日（金）に開催され、次の議事について審議などを行った。

議事

- 平成9年度学術情報ネットワークの整備状況について
- 学術情報ネットワークのあり方について
- 学術情報ネットワークの24時間サービス体制について

学術研究情報ネットワークに関する計画調整会議

第9回学術研究情報ネットワークに関する計画調整会議が平成10年3月5日（木）に開催され、次の議事について審議などを行った。

議事

- 平成9年度学術情報ネットワークの整備状況について
- 将来運用に伴う通信帯域の設計のあり方について
- 学術情報ネットワークの24時間サービス体制について

（ネットワーク課）